

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

会員と小塚会員に委員になって頂く予定なので検討し具体化できれば良いと考えています。

次年度クラブ奉仕委員会 井上久委員長

クラブ奉仕委員会は内部的、管理的な部門であり、特に「会場監督」「親睦委員会」の役割は大変重要であると言えます。他の小委員会の皆様と力を合わせて、北島会長エレクトの掲げるテーマ「人の和で楽しもうロータリー」実現のため努力して参りたいと思います。また地区協議会当日の鈴木文夫次年度ガバナー補佐が話された親睦委員会の働きについてもご紹介したいと思います。・お客様、ビジター等への丁寧な対応・例会時の着席を月に1度は座席指定にしてはどうかという提案・新会員に対しては3～6ヶ月は隣にお世話係が付いてはどうかという提案・例会30分前には会場に入る・誕生祝い、入会記念、配偶者誕生日等のお祝いごとをしっかりと・会場の雰囲気作りに努力して頂きたい等の指導がありました。



次年度ロータリー財団委員会 嶋委員長

2017年度にロータリー財団は100周年を迎えます。会員の皆様には年次基金寄付、ベネファクター、ポリオプラスなど各寄付を来年度もお願いしたいと思います。ロータリーカードを使用すると使用額に応じてロータリー財団に寄付されるのでこちらもお願いします。ポリオプラスはポリオを撲滅しようという財団の活動ですが、プラスとは、はしか、ジフテリア、結核、破傷風、百日咳もなくそうという試みです。ポリオはパキスタン、アフガニスタンで今も発生しております。グローバル補助金の活動は人道的プロジェクトの6つの重点分野に関連した国際奉仕プロジェクトです。実施国側の強い要望、異なる2つの国の提唱者、持続可能なプロジェクトに対して実施されます。6つの重点分野とは・平和と紛争予防、紛争解決・疾病予防と治療・水と衛生設備・母子の健康・基本的教育と識字率向上・経済と地域社会の発展です。



次年度米山記念奨学委員会 石野委員長

地区協議会に参加し、米山奨学金事業の成り立ち、米山梅吉先生の生涯について、奨学生の募集と選考プロセス、学友会について、寄付の状況についてお話を伺いました。留学生の優れた学業の達成を支援し、同時にカウンセラーや世話クラブとの交流を通じロータリー精神を学び、国際理解を深め、日本と母国の架け橋となるなど国際親善に尽くす人材を育てるという目的の下に奨学金を渡し、学業や異文化理解、コミュニケーション



ンを学ぶ人材を育成するということを目的としております。2016年度の奨学生は41名で中国18名、韓国9名、ベトナムが6名、ネパールが2名、モンゴルが2名、その他が4名という構成となっております。学友会の活動についてもご紹介がありました。奨学生と元奨学生で構成する組織で、被災地の支援活動などを行った実績があります。ロータリーとしては学友との繋がりを積極的、継続的にとって欲しいと考えております。

次年度会員増強委員 小塚委員長

セミナーにてブレインストーミングという手法を取り入れました。6グループほどに分けフリートキングをしてそれを模造紙にメモし、リーダーがテーマを絞って問題点と解決策を探り最後にまとめて発表するという形です。それによってピックアップされた問題点は日頃私達が聞いている話が多かったです。当クラブは年齢構成も様々で、職業分類のバランスもいいので、できればこのまま45名ほどの会員を維持していければと思います。ロータリーの難しさを追求しすぎると会員が増えないのではないかとのお話がありました。仲良しクラブとして遊ぶことを否定する意見もありますが、楽しくなければロータリーではないという考えは正しいと思いますし、楽しい中にも真面目な部分があればよいのではないかと思います。今の時代に合わせること、ロータリーの基本部分についてはしっかり守っていくことがポイントかと思っています。



次年度広報・公共イメージ向上委員会鈴木清委員長

上澤摩壽雄委員長、サブリーダーの佐保田實氏より、研修委員会の目的、任務及び責務についてお話がありました。新入会員の入会前情報教育として規則、誕生した経緯、遵守事項、会費、時間の規律を守る、各種会合への参加(地区協、IM、LYLA)、5大奉仕委員会等について会長、副会長、幹事、紹介者、増強委員長などが同席し2時間ほどレクチャーすることが大切とのこと。また新会員は3年未満で退会してしまうことも多いので、それを防ぐために1泊での研修を行う、小宴会などの場の設定も考えてはいかがでしょうかのお話でした。新しい試みとしてシンクタンクの活用についてもお話がありました。卓話バンクで様々な人材を発見できるので、そういったものも活用し例会の質の向上についても考えてみる必要がありますとのことのお話でした。研修というと堅いイメージがありますが、ロータリーに入ってよかった、いい時間を過ごしたと思える例会やロータリーのあり方をどのように具体化できるか探りたいと思います。

